

いのち、暮らし、平和が大事！

日本共産党京都市議会議員

山本 陽子 活動ニュース

VOL.9 2016年2月28日号

連絡先 日本共産党山科区生活相談所 山科区西野大手先町8-8 ☎595-8342



市長選挙、ご支援ありがとうございました！

雇用SM-TT-
子育SM-TT-
困りSM-TT-
山科SM-TT-



市長選、本田久美子さん健闘!! ご支援ありがとうございました!

選挙戦を通じて、皆さんと交流した市政への思いを大切な財産に、引き続き住民本位の市政転換実現に向けて大きく行動を起こしたいと思います。

…今回の選挙の成果は、何と云っても敬老乗車証の改悪を阻止に追い込んだことです！ 対話のなかでも一様に「改悪は困ります！」という反応が広がり、市長側も慌てて「9月の変更は予定していません」と、明言するに至りました。「有料ゴミ袋の値下げ」「京都市地下鉄の自衛官募集の吊革広告」も反応が大きかった事柄です。山科区では、「市内部との地域間格差」「地域交通の充実」、この切実な願い、引き続き市議会へ訴えていきます！

2016年京都市長選挙得票

本田久美子	129,119
(推薦:共)	
門川大作	254,545
(推薦:自・公・民・社)	
三上隆	15,334



投票に行った人、投票率は、前回より3ポイント低下で35.68%。市政への関心が低下しているのか？選挙のありかたに問題があるのか？…投票率を引き上げるための努力を政治はしっかりと議論しなければならないと思います。

2016年度京都市予算議会 (2/24~3/25)が始まります!

予算規模全会計1兆6508億円(前年比424億円減)、一般会計7277億円(227億円減)となる市の予算案、168議案が発表されました。来月に審議の内容をご報告します!

日本共産党市議団の代表質問

3月1日(火)
 13:45~ 山中 渡(下京区)
 15:00~ 河合ようこ(西京区)
 15:40~ やまね智史(伏見区)

KBSテレビのほか、市議会ホームページでもインターネット中継されます。是非ご覧ください!

自治体政策セミナーに参加して

岡田知弘京大教授の講演、『TPPと地域経済・自治体』『「地方創生」政策の本質と地域再生の方向』を聞いてきました。

国が向かおうとしているところは、人口減少社会を全面的に打ち出し、「選択と集中」で合理化して、市町村合併や道州制を進めることですが、それは地域から見たら個々の地域が衰退していくことを容認することにつながります。

今、地方自治体が取り組むべきは、内需を大切にされた地域経済に重点をおくことです。大企業を誘致しても、お金はほとんど地方の利益とならず、儲けるだけ儲けて、地域を再生産していくことに責任をもちません。その土地に根ざす、地元の中小企業だからこそ地域の発展のために力を尽くすのです。ここが弱ってきては、地域の力は弱まります。災害が多発している今だからこそ、地域の力を強める中小企業支援が重要になります。

…先生が言われるように、地域に再投資していく循環型経済の形こそ、目指すべき姿だと思いました。大企業誘致は地域の振興に効果はないと気づいた自治体は、具体的に、中小企業振興条例や、公契約条例で町を活性化させる努力をしています。引き続き、議会で大企業に軸をおく京都市政のあり方を問い正していきます。

私道の穴、塞ぎました!

年は越してしまいましたが、住民の方からご要望をいただいた歩道の穴ぼこを直しました。三条通り沿いのマンションとコンビニの間の歩道です。私道であったので、持ち主を法務局に出向いて調べ、道を挟むお二方に事情を伝えて…。やっと土木事務所に行って、アスファルトの資材をいただき、それを敷き詰めました!! 30センチほどの穴ぼこでしたが、自転車が転倒されたこともあったということで、直ってよかったです。



最近、子どもというのは、こんなに繊細なのか! と、びっくりしたできごとがありました…。

下の5歳の息子はとてもやんちゃで、よく叱られます。まだ、分別がつく途上の発達段階だと私は理解していませんが、一回一回、してはいけないことの重要性を話します。一回言ってもすぐには直りませんが、少しづつわかっていくのが成長だと思っています。

ところが、保育園で先生から叱られ、家に帰ったら母からも父からも叱られ、夜、集まりに連れ出したら、やんちゃをして、おじさんからも叱られる…。こんな毎日の積み重ねのなかで、突然出た言葉が「たけ(名前)は生まれてこないほうがよかったし…」という言葉! まだ、言葉も少ない5歳の男の子が、どこでそんなフレーズを知ったの!? 「お友達が言うてたん?」と聞きましたが、どうやら自ら自然に出た言葉のようでした。

親の仕事の都合で振り回される我が子です。それでも毎日抱きしめて、チューして、愛情を示していると思っただけで、あまり叱られ続けると、子どもは自分を責めて自己否定をするんだ! 子どもの繊細な気持ちに気づくことができず、「たけが生まれてきてくれて、かか(ママ)はほんまに嬉しいんやで。生まれてこなくてよかったなんて絶対ないよ!」と言っただけで、かか(ママ)はほんまに嬉しいんやで。生まれてこなくてよかったなんて絶対ないよ!」と他の子どももみんな同じ。大人の論理で「叱る」だけではダメで、しっかりと子どもの思いを受け止めていく大切さを再認識しました。

子育て日記

